



きちきち ニュースレター

Vol.4

2014年3月

発行:公益財団法人日本YWCA 基地チーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-11

東京 YWCA 会館 302 号室

tel: 03-3292-6121 fax: 03-3292-6122

www.ywca.or.jp office-japan@ywca.or.jp

ノグチゲラ/沖縄本島北部山原にのみ生息。国指定特別天然記念物

<いくきち&みるきち>

沖縄戦における
米軍沖縄本島初上陸の日(4月1日)に寄せて
~「平和の光の柱トライアングル」~



4月1日(沖縄戦における米軍沖縄本島初上陸の日)に、本島初上陸地のひとつ読谷村で「平和の光の柱トライアングル事業」(座間味村・読谷村・糸満市連携事業)が開催されます。

悲惨な沖縄戦を忘れることなく、平和希求の心を育み、平和教育につなげ、風化を防ぐことを目的に、平和の光が、3月26日沖縄県初上陸の地 座間味島で点灯され、4月1日読谷村~6月23日地上戦が終わったとされる糸満市へとつながります。歴史を忘れることなく、平和について考える機会としましょう。

【日時】2014年4月1日(火)

*点灯式 19時15分~20時 (点灯時間 20~22時)

【会場】ヨミタンリゾート沖縄 (Gala 青い海)
◎会場の様子は、ユーチューブでも配信されます。
◎「ウエチマサシと中野夢」のユニットによるミニライブ。沖縄 YWCA 会員で、基地チームメンバーの中野夢さんが琉球笛を演奏します。

●中野 夢さんからのメッセージ

平和の光が日本&世界に届くように願いを込めて演奏します。平和の光トライアングルは Ustream で世界中に発信します。現地に来られない方も、お時間ございましたら、どうぞ沖縄に心を寄せてください。

* 詳細は沖縄県読谷村ホームページを

ご覧ください。(写真出典: 沖縄県読谷村ホームページ)

<http://www.vill.yomitan.okinawa.jp/events/2014/04/post-168.html>



<よむきち>

防衛省が琉球新報に抗議

沖縄県の琉球新報が、2月23日付紙面で陸上自衛隊の警備部隊配備先として石垣市の2カ所が候補地にあがっていると報じたところ、防衛省は「事実と異なる」として琉球新報社と日本新聞協会に文書で抗議、琉球新報には訂正も求めました。これに対し、日本新聞労働組合連合(新聞労連)は3月4日「報道への弾圧であり、極めて不当で許しがたい」とする声明を発表、安倍政権と防衛省に抗議の撤回と謝罪を求めました。以下、「安倍政権と防衛省は報道に対する弾圧行為を撤回し謝罪せよ」と題する新聞労連の声明を抜粋し、紹介します。

防衛省は琉球新報の記事について事実と異なるとして24日、琉球新報社と日本新聞協会に文書で抗議した。これは防衛省と安倍政権による報道への弾圧であるとともに、新聞業界を政府の管理下に置

こうする意図が明らかな行為である。極めて不当であり許しがたい。新聞労連は防衛省と安倍政権の不当な行為に対し断固抗議する。安倍政権と防衛省は琉球新報社および新聞協会への抗議を撤回し、愚かな行いについて深く反省し謝罪せよ。

政府が昨年、南西諸島の防衛体制強化として警備部隊新設の方針を明らかにして以来、配備先として石垣や宮古、奄美が有力視されている。これはすでにメディア各社が報じ、賛否両論の議論が起きている。部隊がどこに配備されるのか、政府は明らかにしないままだが各地元では切実な関心事になっている。こうした中、琉球新報は独自の取材で現状を報じたのであり、それが「事実と異なる」ならば政府として配備計画の現状や詳細を明らかにすべしただけだ。

「ナチスが最初共産主義者を攻撃したとき、私は声を上げなかった。私は共産主義者ではなかったから。社会民主主義者が牢獄に入れられたとき、私は声を上げなかった。私は社会民主主義ではなかったから。彼らが労働組合員たちを攻撃したとき、私は声を上げなかった。私は労働組合員ではなかったから。そして、彼らが私を攻撃したとき、私のために声を上げる者は、誰一人残っていなかった」

反ナチズム運動を率いたニーメラー牧師はこのように訴えた。今回、私たちが抗議するのは、この事件が琉球新報だけの問題ではないと考えるからだ。新聞協会や新聞経営者が今回の事態を前にして「うち琉球新報ではないから」「沖縄ではないから」と放置すれば、いずれ新聞業界全体が弾圧の対象になるだろう。

年内にも特定秘密保護法が施行されようとしている。施行後ならば記者が逮捕され、新聞社が捜索を受けたのではないか。そのような事態を招いてはならない。だからこそ、私たちはいま、声をあげなければならない。

琉球新報 & 沖縄タイムスを購読しよう！

沖縄の今を伝える、「琉球新報」「沖縄タイムス」を購読しましょう。

【購読申込み・お問合せ先】

琉球新報販売局 TEL0120-39-5069

沖縄タイムス販売部 TEL098-860-3566

<やるきち> 沖縄YWCAより

日本全国キャラバンへご支援を！

沖縄キリスト教学院大学生 知念優幸さんが、沖縄の現状を伝え、各地でのネットワークづくりの旅を計画し、3月20日(木)に那覇の港を出発、1年かけて全国をまわります。知念さんは、沖縄YWCAが事務所機能の一部を置いている沖縄キリスト教平和研究所所属の学生活動「TEAM琉球」創立メンバーで、牽引役でもあります。

以下のように各地で教会を中心にまわる予定です。詳細が決まりましたらご連絡しますので、その際は集会参加・会場提供・カンパなどお力添えをいただきたくお願いいたします。(沖縄YWCA)

【活動予定】

3月21日～4月7日：鹿児島・熊本・佐賀・長崎・福岡

4月8日～30日：山口・広島・愛媛

5月1日～10日：島根・鳥取

5月11日～6月15日：岡山・兵庫・大阪・京都・滋賀

知念優幸さんからのメッセージ

「TEAM琉球」は、座学やフィールドワークを重ね、現在では平和ガイドもしています。修学旅行生や大学ゼミ生を受け入れ、交流を通して、沖縄の現状とその危険性、また沖縄から発する平和の重要性を感じるようになりました。

この度、これまでの経験や、現在の沖縄の現状を全国に伝えたい、そして、そこで出会う方々と平和について考え、気持ちを共有していくことを根幹に、全国をまわりたいと思います。福島原発問題も、沖縄の米軍基地問題にしても、多くの人々が連帯して反対していくことで、国家という大きな壁にも立ち向かっていくことが出来ると信じています。

問題となるのは、沖縄という場所が距離という壁に阻まれているためか、沖縄の米軍基地問題があまりに報道されないためか、あまり認知されていないことにあります。各地を訪れ、伝え歩くことで、これからの日本の、沖縄の将来を考える機会になれば良いと思います。まだまだ若輩者ではありますが、沖縄や平和に対する気持ちは強く持っておりますので、この旅路にお力添えをいただきたいと思っています。

<やるきち>

第8回日韓シニアカンファレンス in 沖縄

「東アジアの平和と 日韓 YWCA の協働」

2014年1月22日(水)～25日(土)、日本YWCAと韓国YWCA(以下、日韓YWCA)は、「東アジアの平和と日韓YWCAの協働」をテーマに、沖縄県那覇市で第8回日韓シニアカンファレンスを開催、韓国から10名、日本から14名が参加しました。

基調講演は、『『沖縄における女性の人権』～かくも長き軍隊の駐留をもたらす暴力～』と題し、高里鈴代さん(沖縄YWCA会員/基地・軍隊を許さない行動する女たちの会共同代表)から、沖縄の現実・軍隊の構造的暴力について伺い、非暴力を基調に平和貢献を進めていくためには何が必要についてかについて考えました。フィールドワークでは、強制連行され沖縄戦で艱難を強いられた元軍夫の方々の証言に基づき、読谷村に建立された「恨の碑」等を訪ねました。

沖縄の地で軍事基地のもたらす現状を学んだ参加者たちは、共同声明を出し、新たな基地建設断念に向けて、一人ひとりが「隅のかしら石」となり、東アジアの平和構築、そして世界平和実現に向けて共に歩み続けていくこと決意を新たにしました。



平和の礎



韓国人慰霊塔前にて



写真中央はフィールドワークでガイドくださった金井 創さん(沖縄キリスト教平和研究所コーディネーター/日本キリスト教団佐敷教会牧師)

<いくきち>

「首相官邸前ゴスペルを歌う会」で 「普天間基地ゲート前ゴスペルを歌う会」と 同じ歌を歌おう!

「普天間基地ゲート前ゴスペルを歌う会」に連帯する「首相官邸前ゴスペルを歌う会」は、毎月第4月曜日 18:00～19:00 の開催です。

歌詞カードは当日配布します。ペンライトや懐中電灯など手元を照らすものをご持参ください。楽器、鳴り物など自由にお持ちください。ギターやキーボードの伴奏、リードもあり、力強く歌えます。誘い合ってみなで参加しましょう。ふらっと参加も歓迎です。

呼びかけ: 平和を実現するキリスト者ネット

新宿区西早稲田 2-3-18-24(NCC 内)

E-mail cpnet@mica.dti.ne.jp <http://cpnet.bonajp/>

TEL・FAX

3-5272-8312

©Rieko Hasegawa



<やるきち> 賛同署名呼びかけ

【署名サイト <http://chn.ge/1glVJSw>】

バラク・オバマ大統領／安倍晋三首相宛
**辺野古の新基地計画を中止し、普天間基地を
即刻沖縄の人々に返してください！**

今年1月7日に、言語学者のノーム・チョムスキー、アカデミー賞受賞映画監督オリバー・ストーンとマイケル・ムーア、ノーベル平和賞受賞者マイルレッド・マグワイア等が呼びかけ人となり出された、「世界の識者と文化人による、沖縄の海兵隊基地建設にむけての合意への非難声明」への賛同署名がウェブサイト呼びかけられています。

**反対声明を出した
主な海外有識者ら**

オリバー・ストーン氏
ベトナム戦争をテーマにした「プラトーン」や「ウォール・ストリート」など社会派作品の米映画監督。広島・長崎への原爆投下を正当化する議論を非難

マイルレッド・マグワイア氏
北アイルランド紛争の平和的解決に尽力しノーベル平和賞を受賞した英国・北アイルランドの活動家。核廃絶を主張
=AP

ノーム・チョムスキー氏
米言語哲学者。国際政治や現代社会の批評家としても活躍。米中核同時テロ後のブッシュ政権の対応を批判

ジョン・ダワー氏
米国の歴史学者。敗戦直後の日本を描いた「敗北を抱きしめて」でピュリツァー賞受賞
=共同

マイケル・ムーア氏
米映画監督。米国の銃社会を告発した「ボウリング・フォー・コロンバイン」でアカデミー賞ドキュメンタリー長編部門を受賞

Oliver Stone, Noam Chomsky, Michael Moore, John Dower, Daniel Ellsberg, Naomi Klein, Mairead Maguire, Gavan McCormack, Peter Kuznick, Joseph Gerson, Richard Falk, Norma Field, Herbert Bix, Joy Kogawa and more

(出典:Peace Philosophy Centre ウェブサイト)

この声明は、「私たちは沖縄県内の新基地建設に反対し、平和と尊厳、人権と環境保護のためにたたかう沖縄の人々を支持します」と始まり、「近年の世論調査では県民の辺野古新基地への反対は7割から9割に上っていました。今回の仲井真知事埋め立て承認直後の世論調査では、沖縄県民の72.4%が知事の決定を『公約違反』と言っています。埋め立て承認は沖縄県民に対する裏切りだったのです」とし、「普天間基地はそもそも1945年の沖縄戦のさ中、米軍が本土決戦に備え、住民の土地を奪って作りました。終戦後返還されるべきであったのに、戦後70年近く経っても米軍は保持したままです。したがって、返還に条件がつくことは本来的に許されないことなので」あり、辺野古の海兵隊基地建設を中止し、普天間は沖縄の人々に直ちに返すべきであるとしています。

*「世界の識者と文化人による、沖縄の海兵隊基地建設にむけての合意への非難声明」の全文はこちらをご覧ください⇒

http://peacephilosophy.blogspot.ca/2014/01/blog-post_8.html

■署名サイトはこちら⇒ <http://chn.ge/1glVJSw>
(発信者:International Petition for Okinawa)

沖縄YWCAの賛助員になって

ニュースレター「うーまん世」を読もう

沖縄に度々行くことができなくても賛助員として沖縄YWCAの活動をサポートすることができます。「うーまん世」を通して、基地をめぐる状況がわかるほかコラム「なるほど沖縄」など毎回読みごたえがあります。

★沖縄YWCA 賛助会費 年間1口 3,000円

振込先:(郵便振替) 沖縄YWCA

口座番号:01720-6-101156

★お問い合わせ先:沖縄YWCA

okinawaywca@yahoo.co.jp